

## 「できる人が できる時に できる事を」 ～ 12人でコツコツと～



秋田県にかほ市消防団 女性部  
部長 今野 裕子

私たちが活動する秋田県にかほ市は、秋田県南西部に位置し、南に鳥海山、西に日本海を望む、山と海に抱かれた風光明媚なまちです。にかほ市消防団は、昭和45年4月に仁賀保地区消防団として設立、平成17年に市町村合併によりにかほ市消防団へと改名されました。平成19年4月に女性団員9名を採用し、にかほ市消防団女性部として活動を開始しました。現在総団員約560名、そのうち女性部には12名が在籍しております。

### 1 主な活動

#### ・防火教室等の広報活動

きっかけは、秋田県の女性消防団ネットワーク会議に出席し、茨城県阿見町女性消防団の幼児防火教室を見たことでした。与えられた活動以外の「何か」を探していた自分たちにとって、まさにこれだ、という内容で感銘を受け、さっそく阿見町消防団と連絡を取りました。有難いことにシナリオを頂き、地元高校生に紙芝居を作成してもらい、自分達なりに試行錯誤を重ね、市内の保育園で幼児防火教室を始めました。



保育園での防火教室

さらにアレンジを加え、現在は地震津波防災教室、高齢者防火教室、おもちゃ花火教室なども行っています。

#### ・大会・式典の補助

大会・式典は進行の補助が中心ですが、にかほ市消防操法大会には家族で来る方も多いため、子供用の防火衣や半纏を着ての記念撮影や、起震車で地震体験、水消火器で消火体験等を行うことができるキッズコーナーも担当しています。



にかほ市消防操法大会

#### ・独居老人査察

春と秋の2回、消防署予防班の署員と社会福祉協議会職員と共に、独り暮らしの高齢者宅を訪問、住宅防火診断等を行って



独居老人査察

ます。

### ・広報誌の発行

年1回発行、にかほ市の広報と共に全戸配布しています。主に自分たちの活動を掲載していますが、防災情報なども取り入れています。

### ・救命講習の補助

消防署救急班の指導を受けて応急手当普及員の資格を取得し、主ににかほ市内の中学校や高校などで救急隊が行う普通救命講習の補助をしています。

### ・炊き出し訓練

春・秋の防火週間の際などに年1月回以上必ず炊き出し訓練行います。災害時に不足がないよう、その都度備品の確認も行っています。カレー、おにぎり等、30人分程を作ることが多いのですが、昨年にかほ市の防災訓練で、200人分のおにぎり、豚汁を作り、初めて大量炊き出しへの対応ができました。また、今年は自治会館等での炊き出しも始め、より実践的な活動を心がけています。



炊き出し訓練

## 2 活動のあり方

### 【できる人が】

活動がある曜日や時間帯を考えると、自分が参加できそうな部分が見えてきます。違う曜日、違う時間帯に活動があるからこそ、『できる人が』偏りなく活動できていま

す。しかし、自分たちだけでは出来ないことも多いので、そこには消防署員、男性団員、地域の人々にも加わって頂きながら活動の幅を広げていければと考えています。

### 【できる時に】

活動は「式典などの土日の活動」、「防火教室など平日の活動」、「広報編集・各教室の練習など夜の打ち合わせ」に分かれており、参加できる時間帯も異なっているため、全員が比較的バランス良く参加できています。打ち合わせも、事前にメールで内容を知らせるため、資料だけ届けてくれる団員もいます。時間がかかる時には、残れる団員だけ残ったり、各教室に参加できない時も練習にだけ参加したりと、『できる時に』無理なく活動しています。

### 【できる事を】

常に、「もっと伝えたいことはないか」「もっと分かりやすくないか」という気持ちで、よりよい内容にするために皆で検討し、形にします。1つの活動を始めたことで視野が広がり、次の活動が見え、担当に相談し、活動につなげる。「用事があるから出務できない」ではなく、少しでも、「何とかならないかな」と『できる事を』考えるようにしています。結果、出られなかったとしても、考えてみた気持ちは次の活動につながると考えています。

## ～できる人が・できる時に・できる事を～

これは決して「できる人がやればいい」ということではなく、「できる時間帯はないか」「できる事はないか」という気持ちを持つということです。それぞれが仕事・家庭等をもって活動しているため、こういった考え方を大切にしています。これからも全員で1つのチームとしてより良い活動を続けていきます。